

選挙公報

鶴岡市選挙管理委員会

鶴岡再興!! 市民とともに未来を拓く

停滞から再び前進へ! 100の具体策を作ったさとしの想い。

停滞から	住みよさ ランキング	2021年 652位	2017年より 245位ダウン
	ふるさと納税 受入額	2020年度 13市中11位	県内 ワースト3位
	積立基金	2017年 約185億円	毎年10億円 ペースで減少

前進!!

鶴岡市の実力が十分に活かされていません。私は、市民の皆さまとともに鶴岡市の未来を拓く政策を力強く推し進めます。

佐藤 聡 プロフィール 実現力 民間出身 あなたの1票を託してください!

1968年(昭和43年)5月生まれ。西郷小学校、西郷中学校(現第五中)、鶴岡南高等学校普通科、早稲田大学政治経済学部政治学科卒。1991年日本航空株式会社入社。2005年に同社を退社後、山形総販株式会社に入社。同年、鶴岡市議会議員に初当選以降、3期連続当選。2015年に山形県議会議員に初当選以降、2期連続当選をし、2021年7月に市長選出馬のため辞職。

佐藤さとし 検索



重点1 新型コロナ対策

- プレミアムクーポンの配布
- PCR検査、抗原検査拠点の設置
- 市長給与30%削減

重点2 地方創生戦略

- スーパーシティ構想の取り組み
- 企業誘致専門家チームの設置
- 農林水産業の成長産業化を推進

重点3 人口減少対策

- 第2子以降の保育料軽減
- 子ども図書館の設置
- 移住・定住の促進

最重点施策 (抜粋)

ご覧ください



鶴岡市民の皆さまへ
政策提言集

新しい鶴岡をつくる
100の具体策



佐藤

新無所属
人さとし

前進!! 対話の市政 コロナ対策待ったなし!!

今求められるのは
多様性を認め合う市政です。
文化会館、ごみ最終処分場問題
の様な「対話に欠ける市政」
に戻しません!
市民目線で改革を前進させます!

《プロフィール》

昭和49年10月3日 鶴岡市生まれ
大泉小、鶴一中、鶴岡南高、宇都宮大学農学部卒
平成9年 農林水産省入省 福岡県大和町(現柳川市)、
内閣官房IT担当室、在シカゴ日本国総領事館領事、農林
水産副大臣秘書官、食料産業局企画課課長補佐など歴任
平成26年 農林水産省退職 故郷の鶴岡へリターン
東北公益文科大学特任講師(平成26年5月~29年3月)
鶴岡市長(一期目)

◎切れ目のないコロナ対策(追加経済対策、宿泊療養施設充実)

◎3つの約束

① 対話と協働の市民党市政の前進!

② 第2次鶴岡市総合計画の前進!(5つの重点政策)

① 若者定住促進 新たな産業用地と200万円奨学金返済支援

県No.1の産業・ベンチャーの受け皿へ、近年分譲が進む大山に次ぐ用地の開発を推進。
最大201.6万円支援「つるおかエール」と併せ、若者の定住を促進。

② 子育て世代応援 学校給食費第2子も無償化

第3子以降(平成30年度~無償化)に加え、第2子も無償化。
5小改築への学童併設に加え、3小学区、京田の学童施設改築等、子育て世代に選ばれる街へ。

③ 誰ひとり取り残さず命と暮らしを守る 地域医療福祉充実

非正規から正規雇用への転換、障害者雇用促進、医療的ケア児・ヤングケアラー支援、
高齢者等移動手段・除雪支援の充実、地域医療提供体制の抜本的改革推進。

④ 未来基金で地域を応援 過疎対策の司令塔へ朝日庁舎改築

地域まちづくり未来基金、小規模修繕を更に使いやすく充実。鶴岡・藤島・羽黒・楡引・朝日・
温海、各地域の個性を活かした自立分散型のまちづくり。

⑤ 新給食センター、新図書館構想 更なる市民参画まちづくり

第3中学区体育施設に第2コメセン併設、藤島中学校を含む文庫エリア、栄・渡前等の防災等多目的施設、
旧鶴岡病院・鶴岡南高校山添高の活用(市民プール、人工芝サッカー場等)などまちづくり構想の検討・推進。

③ コロナ禍・市長給与3割カットの継続!

対話と市民党のまちづくり



お皆川

明るい選挙キャラクター 選挙のめいすいくん

